

はじめに

前時は本文の構造を図式化しました。まず、解答例を見て前時の内容を確認しましょう。
本時は本文の内容を的確に読解するために、読解のポイントとなる問いについて考えましょう。

課題 次の各問いに答えなさい。

▼読解のポイント▲

問一 「このような考え方」(一五・7)とは、どのようなことか。次の空欄に本文中の語句を補いなさい。
色は①() ()の内に生じる②() ()であって、物の③() ()ではなく、④() ()
な世界には色が⑤() ()しないということ。

問二 「いまは直感的な一言で済ませておきたい」(一五・8)と筆者が考えるのはなぜですか。簡潔に答えなさい。

問三 「私はそれと同じまちがいを犯しているのではないか」(一六・15)とあるが、どのようなまちがいのことか。最も適切なものを選んで丸をつけなさい。

ア 宇宙船の爆破は明らかに客観的なものだが、バラが赤いかどうかは主観的であることを忘れていていること。
イ 宇宙船の爆破は映画のシーンであるのに対して、バラは映画ではなく現実のものであることを忘れていていること。

ウ 真空中では宇宙船の爆破音が聞こえないことを忘れてるように、暗闇には光がないことを忘れていていること。
エ 宇宙船の爆破は真空中のできごとであるが、バラはたとえ闇の中であっても空気中にあるのを忘れていていること。

問四 「私は困っていた」(一七・11)とあるが、どんなことに困っていたのか。「バラ」という言葉を用いて簡潔に答えなさい。

問五 「私は虹のことを思った」(一七・12)とあるが、「虹」と「色」について、筆者の考える共通点として適切なものを次の中から一つ選んで丸をつけなさい。

- ア どちらも主観の内に感覚を引き起こすことで認識できる点。
- イ どちらも世界に存在する条件の一つが「光」である点。
- ウ どちらも見る人の心の中にあり、存在自体が主観的である点。
- エ どちらも「光」によって色の性質が決定づけられる点。

▼まとめの問題▲

問六 「最近いちばんうれしかった話」(一四・1)とはどんな話のことか。簡潔に答えなさい。

問七 「色は物の性質だろうか？」(一四・8)とあるが、この問いについて、筆者はどのように結論づけているか。簡潔に答えなさい。

()

()